



photocollage version

本橋辰哉作品集

INTRODUCTION

自分らしさを表現しようとした時、どのような単語が思い浮かびますか？

例えば「空気」と答えた人が居るとします。

「空気」と耳にしたとき、どのようなイメージを想像しますか？

居るのか居ないのか？「空気」のような存在感…

眼にはみえないけれど、必要不可欠な存在（縁の下の力持ち）だから…

また人によっては、「単語？、そんなの全然思いつかねえ〜」

「私は〇〇だからにして、〇〇であり、〇〇ゆえ〜」と単語ではなく、文章になっていたり、黙秘や思考停止してしまう方と、リアクションは様々に分かれるのではないのでしょうか？

～人生は言葉によって開ける～

これ、真実だと思っています。

ひとつの単語との出会いで、視界が広がった体験したことありませんか？

若しくは、なんとも思っていなかった、ただの単語ながらその意味合いを知り、深く共感したことありませんか？

僕にとってのその体験が、「Olivegreen」。

そしてその言葉が重要なコンセプトになっています。

解説は後ほど説明いたします。

まずは僕の作品世界をご覧になって下さい。

olive & green



= WATER =

「水のかたち」

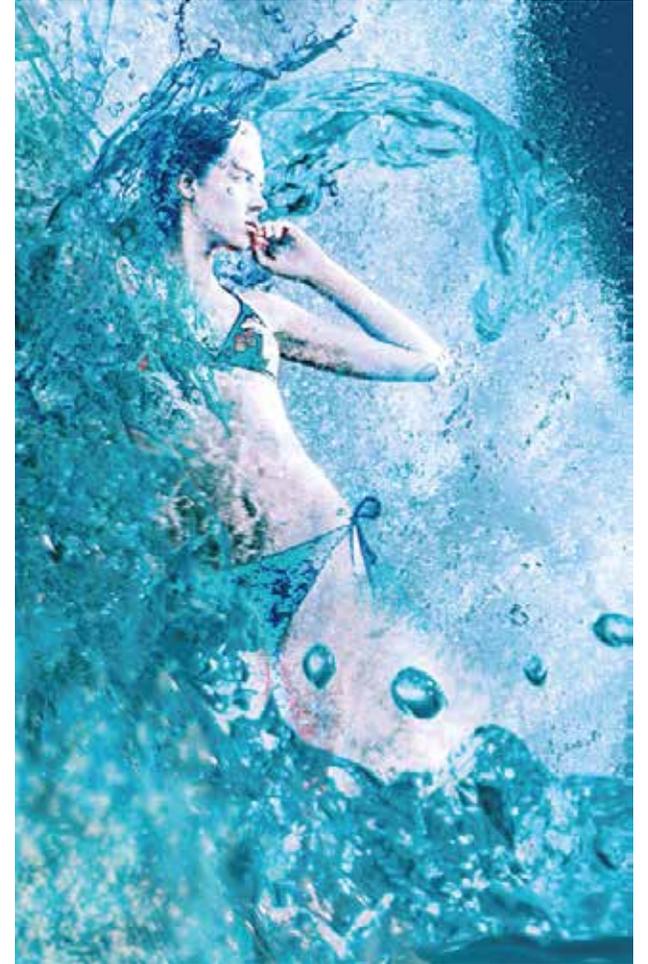
「水」という単語から
どんなモノをイメージします？
「海」「波」「川」「湖」「滝」「波紋」
「雨」「水滴」「水蒸気」 etc…

「水」に関することをテーマに、
作品をまとめてみました。

olive & green



= WATER =
「水のかたち」



= WATER =
「水のかたち」



「水」は様々なカタチに変化する。
また、時に優しく癒しを与えてくれ、
時に力強く、器のカタチを変える。

「静」と「動」があり
またカタチは面白いほど、変化に富んでいる。

PHOTOSHOP × ILLUSTRATOR

ふとした瞬間、「あれ？これってスゴイ事じゃねえ！」
そんな風に感動した体験ありませんか？

そんな体験の一つがコレ。

Photoshop×illustrator

掛け算表記にしたのには、理由があります。

それは、

素材との組み合わせにより、表現効果は何倍にも膨れ上がるから。
仮に10と10という数値があったと仮定し、これが足し算であれば、
その結果は20でしか過ぎないが、掛け算だったならば100になる。

何も考えず、目の前のことをこなしている内はぜいぜい足し算。

場合によっては、引き算、若しくは割り算に成りかねませんよね。

どうすれば最も美味しくなるか？

どうすれば最も思考世界を具現化できるか？

思うような結果を得られないジレンマを感じるのは常かもしれない。

でも、普段から考え・工夫し・意識化する行動をし続けたのならば、

おのずと得れる結果は違ってきますよね。

そのひとつの感動体験が Photoshop と illustrator の組み合わせ。

フォント(文字)との組み合わせや、ベクター素材との組み合わせに

より、頭の中にあった映像が具現化に近づきました。



And "I'm not supposed to be such a thing to you". I say to you who is this? The person, Enough to have a qualification that defines your limits, Is it that of the highly successful?

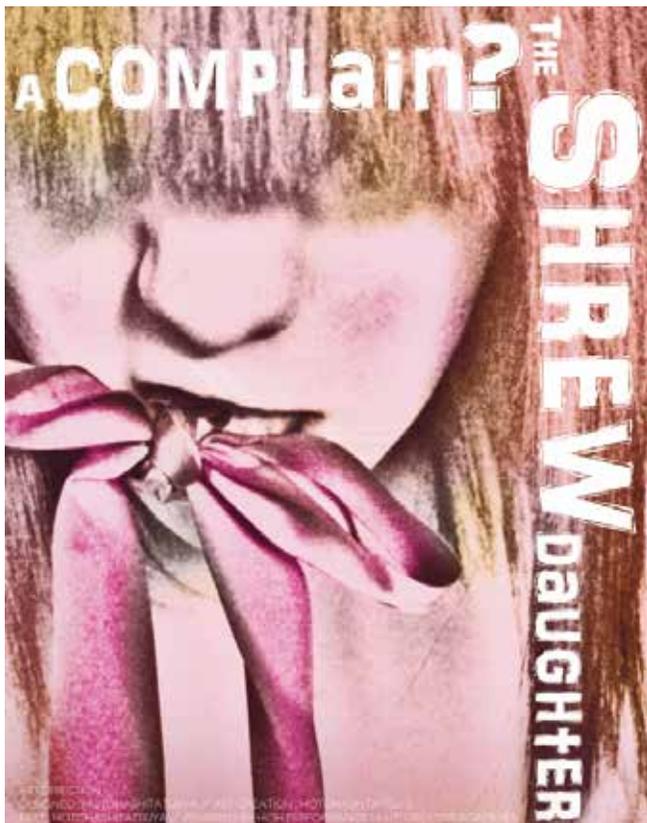
I LIVE IN THE BEST

Failure and frustration is inherent in human beings. The problem, lessons and from there it is whether or not draw food for success. As long as you do not want to impose a limit in the mind, Limit something does not exist in life.

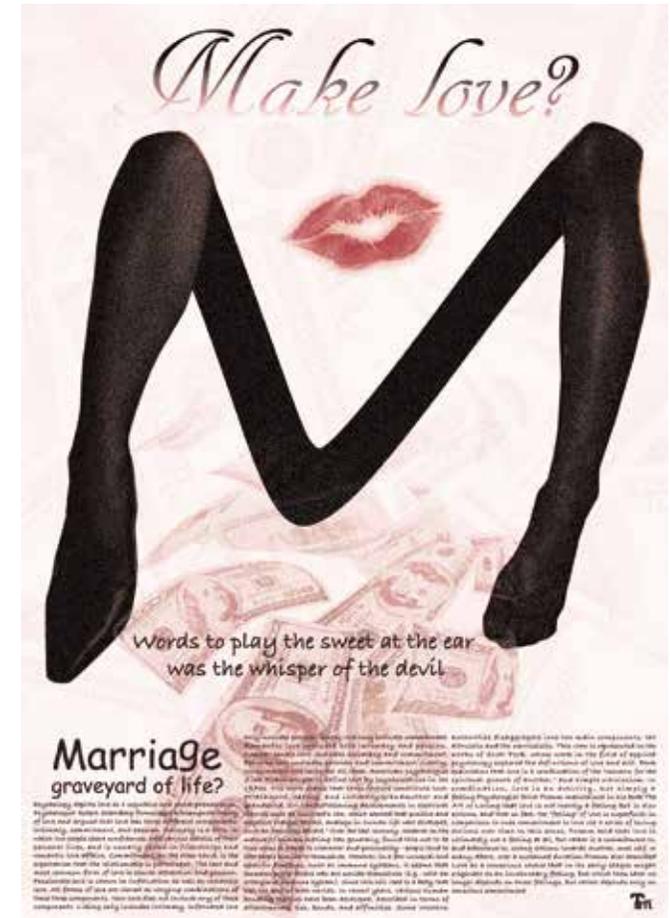
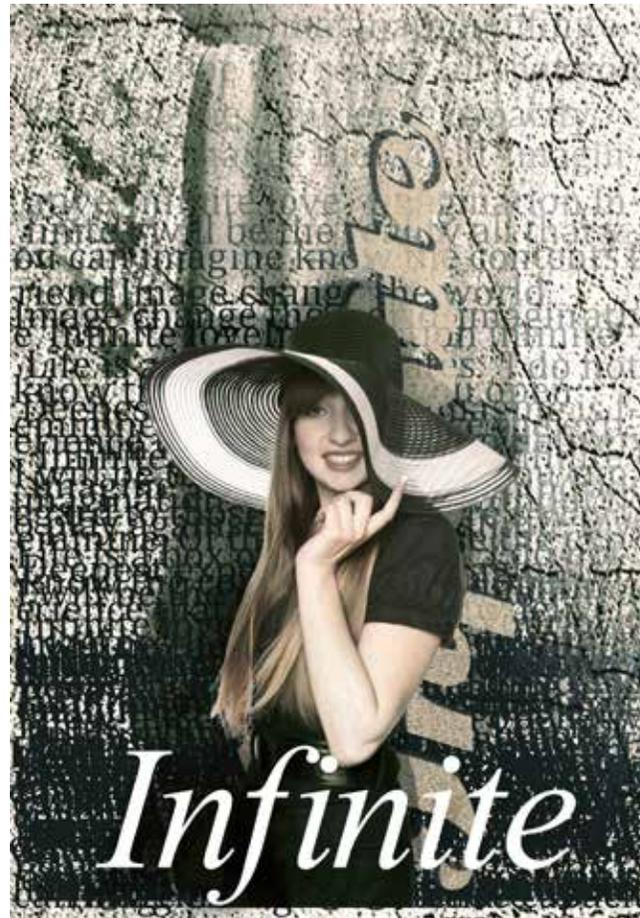
is called "name prefix" what has been expressed in words the concept, as a component of language, by combining it represents a said, to express and capture the real world as a judgment and recognizable. By name suffix that conceptualized like this almost, you can understand that all of this world, are represented or humans [citation needed]. The concept reflects the mind of the person who propose, advocate it, point of view, position, position-way spiritual. The concept, by insulating in the same way to Euen them, compendium to eliminate the difference between things, events of individual, common between things, events, summary view, image, in other words a "universal concept" made. This concept, to contribute incident events and real, is divided on the type of the relationship between things, classify, enabling you to categorize, to the classification. The concept means "proposal, proposal, offer, plan, proposition" an element if it is an element in the context. Concept is something that exists in the spirit inside the human, it is something

THINK AND GROW RICH

PHOTOSHOP
×
ILLUSTRATOR



PHOTOSHOP × ILLUSTRATOR



PHOTOSHOP
×
ILLUSTRATOR

今日という日は、残りの人生の最初の日。

This day is the first day of remaining life.

Listen well,
Those who die leaving the money is under.
Those who die leaving the work's in.
Those who die leaving a person is above.
And you remember well

It's not too late to be a genius
Eccentric Laboratory

WISDOM

CONDITIONS OF SEVEN TO BECOME SAGES

1. I have learned the word of the Holy of the Holy.
2. I have learned to walk in clouds on the Earth.
3. I have learned to walk in clouds on the Earth.

KNOWLEDGE
Knowledge is similar to water. It flows by the sea and forms a high dike. As long as the dike is there, there is no danger.

WISDOM
Wisdom is similar to water. It flows by the sea and forms a high dike. As long as the dike is there, there is no danger.

WISDOM
Wisdom is similar to water. It flows by the sea and forms a high dike. As long as the dike is there, there is no danger.

MIZUNO

Little courage

BUTTERFLY EFFECT
This model will develop into a slight change in direction of initial

MIZUNO

MIRAGE

「蜃気楼」という言葉が心にささります。

意味合いは、「光の異常屈折現象の一つで、像の位置がずれたり、倒立したり、実在しない像が現れたりする現象の総称。地面や海面の温度と気温との差が大きいとき、地面や海面付近に著しい気温の鉛直および水平の変化が起こり、地表とほぼ平行に走る光線がまっすぐ進まず、異常に屈折するために生じる。」
(ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典の解説より)

小難しい解説や、理屈の話になると脳内世界 (inspiration) から遠ざかってしまいますので、単純に何が心にささるかと言えますと「光の遊び・悪戯」。
実在しない像 (モノ・世界) が現れる (みえる)、この意味合いにココロ高ぶり創作意欲高まります。

ロマン主義を代表する巨匠「ターナー」の作品が好き。
光や空気の感じさせ方・繊細な彩りに深く共感します。
「光」は、数え切れぬほどの恩恵を与えてくれます。また色いろなモノをみせ、感じさせてくれます。「光」というモノを主コンセプトとし、イメージを膨らませ、眩しい光の中で感じた映像、暖かな光の中での追憶を表現しました。



MIRAGE

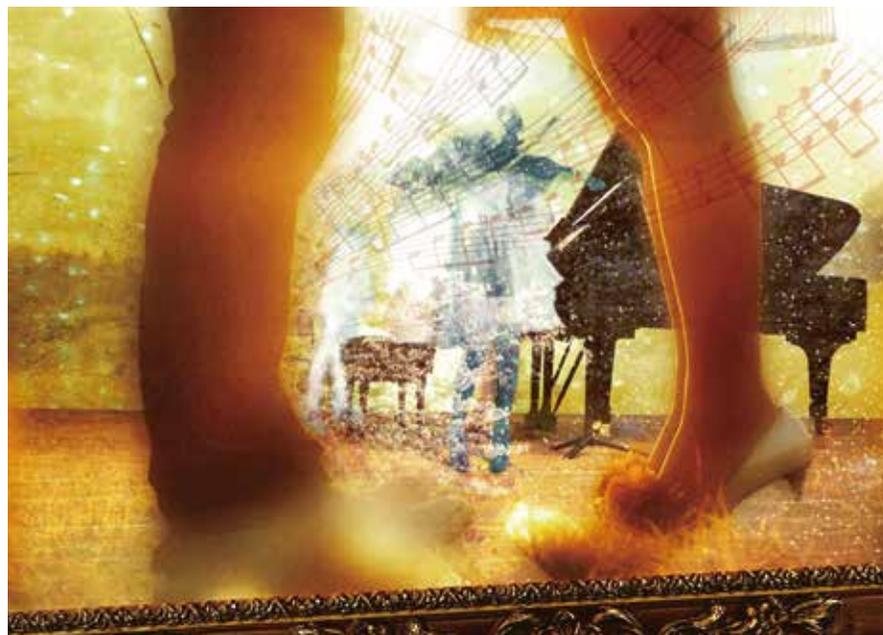


olive & green

MIRAGE



olive green



MIRAGE



olive & green

POWER OF WORDS (KOTODAMA)

言葉には力が宿っていると思います。否、言葉のみならず「文字(フォント)」にも。ひとつの単語から無限に世界が膨らんでくる……。あたかも映画を観ているかのように。

フォントって、かなりえげつないと思います。なぜならばフォントが異なるだけで、同じ単語にも関わらず、その単語のもつイメージが変わるから。もっとかみ砕くと年齢・性別・性格・シチュエーションまでもが異なります。

どの様にして、相手に正確に伝えられるか? その様な前提があるからこそ、フォントの数は数え切れないほど在るんじゃないかな。また手書きの文字からも、読み取れる情報がたくさんありますもんね。フォントもたくさんありますが、単語表現もたくさんある。どうやって相手に正確に伝えるか? これって思考の原点かもしれません。

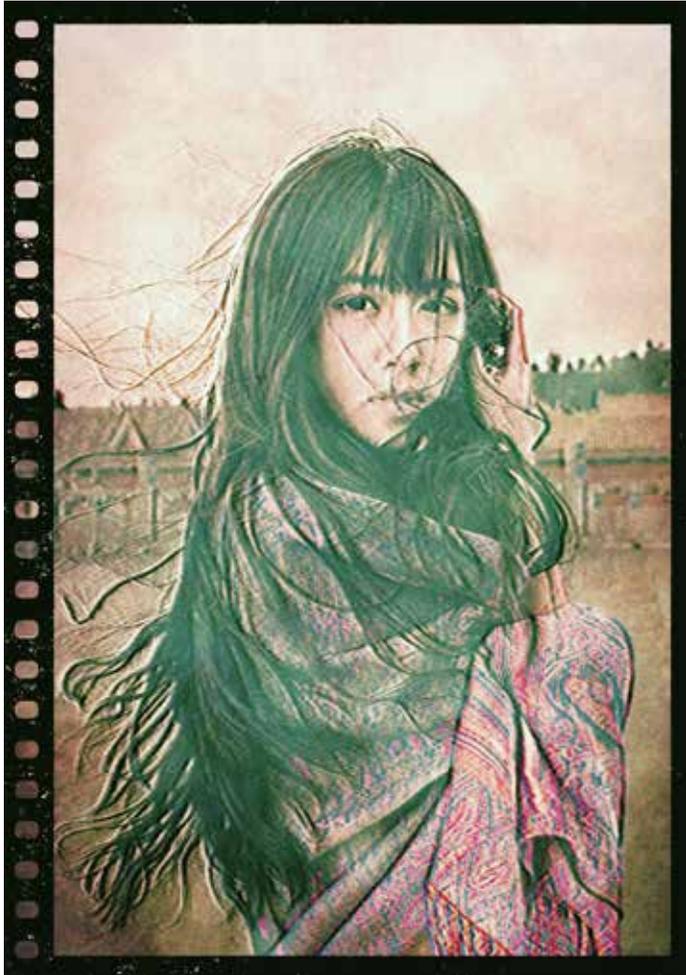
仮説ですが、この世は言葉でできていると思います。言葉があつて文字があり、その文字を記す媒体がある。その媒体の積み重ねが、発見・発明・文化・文明へと展開を広げ、今日がある……。なににせよ、思考を巡らしている時間は楽しい - です。



POWER OF WORDS (KOTODAMA)



POWER OF WORDS (KOTODAMA)



COLOR PRINT OF EVERYDAY LIFE IN THE EDO PERIOD

「浮世絵」が好き。特に色使いが独創的に感じます。また構図の取り方、ストーリーの組み立て方であったり、遊びや風刺的なモノが入っていたりと、何かと心に刺さります。

Photoshopを使っていると常々思うのですが、Photoshopと浮世絵と言いましょうか、シルクスクリーンやリトグラフといった版画類の相性が良い。まあ、「レイヤー」=「版」ですのであたりまえと言えばあたりまえですが……。何が言いたいかというと、レイヤー(版)の組み合わせの順番によって、出せる色合い表現が変わると言うことです。

この作品たちは、使っている素材(写真)は1点だけです。でも幾枚にも及ぶレイヤー(版)を使用しています。若干トリミングしていますが、その写真からインスピレーションを頂き、自分好みへカスタマイズしていく。この表現方法との出会いが、僕の作品の世界観を押し広げてくれました。



COLOR PRINT OF EVERYDAY LIFE IN THE EDO PERIOD



STACKING

「積み重ね」って大事です。

なんでそんなこと思ったのか?と申し上げますと、発想であったり、アイデアであったり、インスピレーションが湧きおこる根源は、経験の積み重ね、今まで観てきた世界があっただけこそ成り立つからです。

アイデアは降ってわからない。仮説と実験の積み重ねが血肉となって、初めてでてくるのだと思います。この作品が生まれたきっかけは、コラージュをしていると写真の色の生々しさが嫌と感じた→色を抜こう→絵画っぽくしたいな・イラストっぽくしたいな→ではどうすれば、それが具現化するのか?過去の作品表現から活かせることは何かある?絵画・イラストっぽいてなんだろう?

それが発想の原点でした。一見、素材(写真)は1点だけにみえますが、テクスチャとなる素材を数枚仕込んでいます。



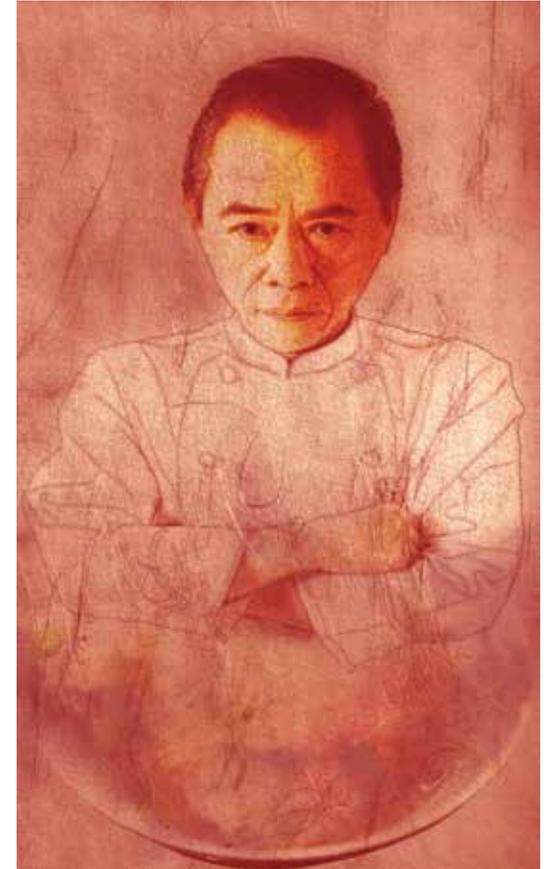
SOLILOQUY

(ヒトリゴト)

世の中、Photoshopで加工されたものに溢れています。
ポスター・フライヤー、雑誌の表紙であったり、グラフィ
アしかりと。

とある日、遺影写真をみたとき、なんて仕事が粗いのだ？
と、感情刺激されました。と同時に、何か出来ないかな？
とアイデア刺激されました。
一枚の絵をみただけで、その人らしさ・その人が好きだ
ったこと。そんな事を表現できないだろうか？と。

新しいと言うと語弊あるかもしれませんが、1枚の絵でそ
の人を語れる・エピソードを伝えられる遺影写真や名刺み
たいなモノがあったら喜ばれるんじゃないかなと・・・。



CONCLUSION

~OLIVEGREEN~

言葉には力が宿っていると思います。否、言葉のみならず「文字（フォント）」にも。ひとつの単語から無限に世界が膨らんでくる……。あたかも映画を観ているかのように。

ずっと前から、ポートフォリオみたいなモノを作成したいと思ってました。でもなかなかつくり上げることができませんでした。ただ作品をプリントアウトし、作品集としてファイリングするのは簡単です。でも、それじゃあ何か物足りない……。

何だかオモイを伝えることが出来ない。そんな葛藤がべっとりと付きまとっていました。

ですが、「オリーブグリーン」という言葉との出会いにより、いっきに視界が晴れ、こうやってひとつのカたちをつくり上げることができました。

「オリーブグリーン」は、明晰さを表す黄色と方向性を表す緑の混色と言われています。またオリーブの実は、口にすると苦くて食べられません。ある一定の行程を経て、初めて甘くおいしくなります。また、オリーブの木は、どんな過酷な環境でも、しっかりと根を張り力強く育ちます。

色の心理学から、オリーブグリーンを選んだ人は、時間はかかるかもしれませんが、こつこつ頑張った結果、プラスαの結果を得られる可能性が秘められていると言われています。

現況なかなか結果が出ず、苦々しい思いで過ごし、人生でも辛く大変な時期があっても未来には明るい希望があることを教えてくれるとも言われています。

オリーブグリーンを好む人は辛抱強い半面、頑固さを持ち合わせているとのこと。その様な意味あいを読んで行くと、かなり現況の自分に当てはまるなと思っています。

もう少し「オリーブグリーン」の意味合いを追って行くと、女性的な直観力や創造性のエネルギーも持ち合わせている・調和・協力協同創造との意味合いも含んでいます。

自分を表す形容詞、そうでありたいとの願い、また創作過程や手法においても、とても合致する言葉です。だからこそ「Olivegreen」との言葉をコンセプトに、これを生み出せることができました。

人と人との出会いがあり、そしてその中から言葉との出会いがある。言葉によって人生は開け、また繋がりであったり創作エネルギーが湧きおこってきます。なににせよ、念願であった作品集をまとめ上げることができ「感謝」です。

本橋辰哉

出身：静岡県浜松市

在住：埼玉県所沢市

既歴：二科展彫刻科入選 /1997年・1999年

仕事：企業ロゴ作成・LINEスタンプ作成

ジャケット(DVD 等他)作成

